

海を越えて、
世代を超えて

瀬戸大橋開通35周年記念事業

せとうちアートセミナー

参加
無料

演題 橋と美術館—その変遷と多彩な美との共存について

瀬戸大橋と高松市美術館は、昭和という時代が最後を迎えようとしていた1988年に誕生しました。その誕生秘話には数えきれないほど多くの人々の夢や希望が詰まっており、その後の歩みは人の人生と同じく紆余曲折を経て今日の姿を見せています。

戦後、焼け野原の高松を美術で復興しようと誕生した旧高松市立美術館が38年の幕を閉じ、商店街に隣接する都市型美術館として生まれ変わった現美術館。その後、バブル崩壊や郊外大型店舗の進出による影響、瀬戸内国際芸術祭の追い風、新型コロナウイルスの脅威など、当館が直面した時々の出来事に瀬戸大橋もまた向き合ってきたことでしょう。その歴史を紐解きながら、橋と美術館というハードは全く異なる建造物が、実は「瀬戸内地域の魅力発信」や「地域活性化の拠点」となるべくソフト面において互いに創意工夫を凝らして成長していることをお話します。



もうり なおこ

講師：毛利直子氏
(高松市美術館)

【プロフィール】

高松市生まれ。関西学院大学文学部（美学美術史学科）卒業。1986年に旧高松市立美術館（栗林町）に学芸員として採用され、88年に移転新築した高松市美術館（紺屋町）で展覧会・教育普及・ダンス公演等の事業に携わる。2016年にリニューアルした同館にて「神話機械 やなぎみわ展」（2019）や「みる誕生 鴻池朋子展」（2022）等を企画。

2023年

4月16日（日）

13:00～14:00（開場12:30）

会場：高松市美術館 1階講堂


定員：100名（先着順）

※当日参加受付もいたしますが、事前に参加申込みされた方を優先します。

申込方法：下記二次元コードからせとうち美術館ネットワークHPへアクセスしてお申し込みください。
(定員に達した時点で締め切りとなります)

主催：せとうち美術館ネットワーク

【お問い合わせ先】

 本四高速 本州四国連絡高速道路(株)内
せとうち美術館ネットワーク事務局

TEL：078-291-1077

